



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党控室メール: [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第581号  
2023年2月13日

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## 国民健康保険料の引き下げ、子ども均等割をなくしての声

2023年度の予算(案)を審議する八千代市議会が2月17日に開会します。物価高騰のなか、八千代市の予算が、市民が安心して暮らせる予算になっているのか?日本共産党市議団はしっかり追求していきます。

特に、国民健康保険事業では、保険料の引き下げや子ども均等割の廃止を日本共産党は求めています。選挙中も保険料の引き下げの声は多く、さらには、子ども均等割については「高いと思っていたが、収入のない子どもにまで保険料が加算されていてびっくりした」との声も寄せられました。



## 市民の運動で、この5年間八千代市は国保料を据え置き

国民健康保険事業は、各自治体で運営されてきましたが、2018年度から広域化され、運営責任や標準保険料率は千葉県が決め、資格や保険料収納は各自治体が担うこととなりました。

毎年、千葉県からは前年度より高くなった標準保険料率が八千代市に示されていましたが、八千代市は国民健康保険事業会計の基金を取り崩して、保険料を据え置いてきました。

日本共産党は、この5年間保険料を据え置いてきたことには、一定の評価をしていますが、ここ3年間はコロナ禍や物価高騰の影響で生活が苦しくなっている方が増えています。そのことから保険料の引き下げ、さらに子ども均等割の廃止は喫緊の課題です。

## 基金を活用して国保料の引き下げ、均等割りをなくせ

1月25日の国民健康保険運営協議会では、2023年度の保険料について、国保基金約11億7千万円のうち1億5千万円を取り崩すことで据え置きにすると報告されました。据え置きには賛成ですが、それでも国保基金には、10億2千万円あるので、引き下げは十分可能と日本共産党は考えます。

さらに子ども均等割は、これまでの全日本年金者組合、民主商工会などの運動とともに、議会での日本共産党の追求で、国からの補填により、現在未就学児は半分が公費負担です。18歳まで子ども均等割をなくすために、八千代市では1200万円あればできるとされています。

今後も、日本共産党は保険料の引き下げと子ども均等割を18歳まで免除するように八千代市に要望していきます。